

あおぞら

行方市 社協だより

No.42 2016.9.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



ビックリ・発見・夏キャンプ (詳細記事は P9)

P12

善意銀行・編集後記

P10-11

義援金報告
共同募金会からのお知らせ

P8-9

トピックス・お知らせ

P6-7

福祉な声

P5

いきいき長寿者紹介

P2-4

平成27年度事業報告
平成27年度決算報告

目次

平成27年度事業報告

～安心して暮らせる福祉のまちづくり～を目指して
主に次のような事業を実施いたしました

会員数

- ・一般会員 8131世帯
- ・賛助会員 253世帯
- ・特別会員 131事業所

善意銀行運営事業

・市民の皆様の温かい善意の寄付金や物品をお預かりしています。寄付された金品は寄付者の意思に添った福祉事業等に使用させていただきます。

広報啓発活動

・社協だより「あおぞら」を発行しました。(6、9、12、3月)

相談事業

・弁護士による無料法律相談を実施しました。(毎月2回 相談件数66件)

高齢者福祉事業

●高齢者サロン事業
・高齢者が生涯健康で生きがいを持って社会活動できるよう健康・生きがい作りに関する事業及びリーダーの育成並びにひきこもり防止や交流事業を実施しました。

(3ヶ所 計35回 延べ439名参加)

ふれあい広場事業

・健康体操やレクリエーションをとおし、高齢者の健康作りを目的として実施しました。(5ヶ所 計50回 延べ600名参加)

いきいきゼミナル事業

・高齢者を対象に理学療法士や行方市シルバリーハビリ体操指導士会による指導で、いつまでも健やかに、いきいきと自分らしく毎日を過ごせるよう介護予防体操教室を実施しました。(1ヶ所 計23回 延べ387名参加)

元気でくさくさびず館

・高齢者のひきこもり予防及び健康作りを通じた交流を目的として実施しました。(3ヶ所 計47回 延べ555名参加)

障害児(者)福祉活動事業

●ピククリ・発見・夏キャンプ
・協同生活を体験し、社会で暮らしていくための知識等を学ぶことを目的に実施しました。(参加者160名 協力 アール医療福祉専門学校)

のびのびサポート事業

・長期休暇中の障害児のストレス軽減をはかるとともに、地域での生活の充実と交流を推進し、心身の発達と生活の豊かさを醸成することを目的として実施しました。(10回 延べ53名参加)

児童福祉事業

子育てサポート事業

・子育てサポーター(子育てを支援する方)と利用者(子育て支援を必要とする方)の相互援助活動を実施しました。(保育サービス提供時間392.5時間)

母子・父子福祉事業

●ひとり親家庭ふれあい遠足(10家族参加)

ボランティア活動推進事業

ボランティアセンター事業

・ボランティア活動を希望される方と必要としている方の調整等を行いました。(団体登録39団体 740名 個人登録131名 依頼件数29件 派遣延べ人数230名)

手話教室の開催(3ヶ所 計89回)

●児童・生徒へのボランティア普及活動

・高齢者や障害者への正しい理解促進のために学校等での各種福祉体

験学習を実施しました。(計4回実施)

運営委員会の開催

・各種ボランティア団体等への補助金の審査を行いました。

生活福祉資金貸付事業

(次城県社会福祉協議会より事務委託)

●低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図る目的で実施しました。(相談件数21件)

福祉団体への支援

・老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会、身体障害者福祉協議会、遺族会等の事務局運営支援を行いました。

在宅福祉サービス・在宅生活支援事業

福祉機器貸出事業

・疾病やケガ、障害者及び高齢者の方などで一時的に車いす等の福祉機器が必要となった方に貸出を行いました。(82件)

福祉車両貸出事業

・障害者や高齢者及びその家族やボランティアの方に車いすごと乗り降りできる福祉車両の貸出を行いました。(104件)

訪問歯科治療機器貸出事業

・歯科医への訪問治療機器の貸出を



いきいきゼミナール

行いました。(4件)

- 在宅福祉サービスセンター事業
・高齢者や障害者(児)に対しボランティアの協力を得て、日常生活における援助等を実施しました。(利用件数 計2645件 利用時間 延べ3929.5時間)
- 在宅言語等リハビリアドバイザー事業
・病气やけがにより言葉によるコミュニケーション能力の低下した方に対して、能力回復を目的として言語聴覚士による訪問指導を実施しました。(12回 延べ56名)
- 軽度生活援助事業
・在宅のひとり暮らし高齢者に対し、軽易な日常生活上の援助を実施しました。(利用者数 延べ55名 利用回数 計205回)



元気〜さ〜びす館

- 給食サービス事業
・在宅の高齢者等で食事作りが困難な方に、栄養のバランスを考えた食事をご自宅にお届けするとともに、声かけや安否の確認をしました。
- (麻生地区 延べ1830食
協力：麻生地区給食ボランティア
北浦地区 延べ1610食
協力：ボランティアグループさわやか・北浦地区食生活改善推進員
玉造地区配食型 延べ2516食
協力：玉造地区給食ボランティア
玉造地区会食型 計3回
玉造地区配食型 計4回
協力：よもぎ会 ひだまり)
- 日常生活自立支援事業
・自分ひとりで金銭の管理や支払い



給食サービス事業

- 訪問介護事業
・指定訪問介護事業所の運営を行う
- 訪問介護事業
・指定訪問介護事業所の運営を行う
- 居宅介護支援事業
・指定居宅介護支援事業所の運営を行い、介護支援専門員(ケアマネージャー)によるケアプランの作成、利用者のサービス提供相談、訪問助言指導、介護保険認定調査を実施しました。(プラン作成数 介護2088件 予防351件 介護保険認定調査119件)
- 介護保険事業
・指定訪問介護事業所の運営を行う



福祉体験学習

- 障害福祉サービス事業
・指定訪問介護事業所(総合支援法)の運営を行い、障害者(身体・知的・精神)への身体介護、生活支援サービスを実施しました。(利用者数延べ419名 派遣時間 延べ5297時間)
- 障害者移動支援事業
・屋外での移動が困難な障害者等に対し、ホームヘルパーを派遣して外出のための移動を支援しました。(利用者数 延べ2名 派遣時間 延べ14327時間)
- 障害福祉サービス事業
・指定訪問介護事業所(総合支援法)の運営を行い、障害者(身体・知的・精神)への身体介護、生活支援サービスを実施しました。(利用者数 延べ1352名 派遣時間 延べ14327時間)

時間 延べ1時間35分)

●計画相談支援事業

・障害福祉サービス等の利用計画を作成し、その方にあつたサービスの提供を支援しました。(利用者数 64名)

●障害者地域活動支援センター事業

●就労継続支援B型事業
・障害のある方に対し、働く場所と創作活動の機会を提供し、知識・能力向上のための支援を実施しました。

(利用者数 計27名 月々金 9時30分～15時 作業内容 公園清掃、内職作業、生活訓練、創作活動等)

●こころのサロン

・精神疾患がある方を対象に、レクレーション等を通じて社会復帰の支援を実施しました。

相談事業

●在宅福祉相談

・医療機関及び福祉施設等を退院・退所後の在宅生活の相談支援を行いました。

共同募金事業

●赤い羽根共同募金運動

・10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、行方市でも個別募金・学校等募金・イベント募金・設置募金・職域募金・街頭募金を実施しました。(募金

総額4665711円)

●歳末たすけあい運動

・市内全域において、高齢者世帯・障害者世帯の方々を対象に、シルバー人材センター等の皆様の協力を得て家事援助サービスを実施しました。(除草等37件 障子張り80件 網戸張替36件 窓掃除14件 廃棄処分19件)

新公共交通システム事業

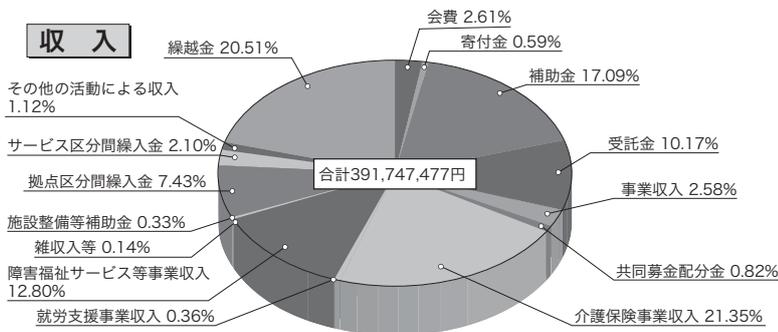
・利用者の予約により目的地まで乗合で送迎するタクシー(デマンド型乗合タクシー)の運行を実施しました。(利用者登録数3906名 利用者数 延べ16894名)



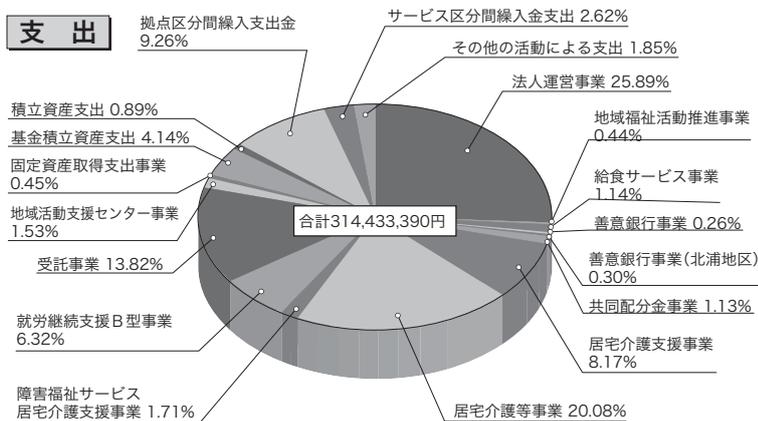
デマンド型乗合タクシー

平成27年度決算報告

収入



支出



(単位:円)

会費	10,210,000
寄付金	2,315,727
補助金	66,940,825
受託金	39,859,395
事業収入	10,119,421
共同募金配分金	3,205,572
介護保険事業収入	83,646,112
就労支援事業収入	1,413,223
障害福祉サービス等事業収入	50,143,580
雑収入等	545,047
施設整備等補助金	1,267,790
拠点区分間繰入金	29,114,215
サービス区分間繰入金	8,223,997
その他の活動による収入	4,392,270
繰越金	80,350,303
合計	391,747,477
法人運営事業	81,414,044
地域福祉活動推進事業	1,369,259
給食サービス事業	3,571,084
善意銀行事業	830,748
善意銀行事業(北浦地区)	947,845
共同募金配分金事業	3,541,890
居宅介護支援事業	25,696,083
居宅介護等事業	63,151,483
障害福祉サービス居宅介護事業	5,367,189
就労継続支援B型事業	19,873,796
受託事業	43,454,557
地域活動支援センター事業	4,812,377
指定管理運営事業	1,413,590
基金積立資産支出	13,017,224
積立資産支出	2,803,059
拠点区分間繰入金支出	29,114,215
サービス区分間繰入金支出	8,223,997
その他の活動による支出	5,830,950
合計	314,433,390

いきいき長寿者紹介

なかじまちなきち
仲島椿吉さん 93歳（行方市泉）



仲島さんは、北浦地区の小幡のご出身で、16歳の時に南満州鉄道株式会社（満鉄）に採用され中国へ行かれました。その後入隊し、終戦後結婚を機にこの地に来られたそうです。現在では、曾孫2人に囲まれ、4世代8人家族で過ごされています。

趣味を持つことが元気の秘訣！

「グラウンドゴルフにカラオケ、庭木の手入れ、北浦荘にも行っているよ。今年で引退したけど、40年以上、詩吟もやっていたな。出



仲島椿吉さん

かけていることが多いかな。」仲島さんはとてもお忙しい方のようです。

いつも顔を合わせているグラウンドゴルフ仲間たちは、60代〜70代の方が多いよついで「自分の息子、娘とプレーしているようだよ。仲間たちからはかわいがってもらっているよ。」そして「北浦荘に行けば、県内外問わず、必ず友だちを作ってくるよ。色々な人と話をするのが好きなんだ。」また、カラオケではメンバー内に披露するだけでなく、カラオケの会として、施設等への慰問活動もされているそうです。ここで紹介させていただいた趣味は、市内や近隣市で

市内や近隣市で



自慢の松の木です

行っており、「自分で自動車を運転していきける範囲で趣味を楽しんでいます。運転する距離も、毎日考えながら他人に迷惑をかけないようにね。」とおっしゃっていました。そして、私が一番驚いたのが、ご自宅の手入れの行き届いたお庭で、その中でも、特に目を惹いたのは、仲島さんもご自慢の松の木。「この松の木は、高須の一本松の子どもにあたる2代目の松で、3代目も小さいけど育ってきたよ。添え木から剪定など、手入れは全て自分でやっているんだよ。」と、嬉しそうに説明をしてくださりました。

戦時中のお話を伺う中で、「自分は運がよかった。多くの友人に助けられたから、今の自分があると思う。だからその友人たちを大切にしないといけないと思い、全国にいる満鉄時代や入隊した時の友人たちに会うために、妻と日本全国旅行したものだよ。行っていない都道府県はないぐらいだよ。」私は、友人を大切にしている仲島さんの優しさを、感じる事ができました。

最後に「いつも笑顔で、腹を立てないこと。身の回りのことは自分でやり、楽しく過ごしていきたいね。」そしてこれからの目標は、前号で紹介させていた、加納精さんとは幼少時代からの友人で、「この前、東京オリンピックまで2人がんばると話をしたんだ。」と笑顔でおっしゃってくださいました。ここでは紹介しきれませんが、ご家族やご友人のこと、そして趣味のことなど、仲島さんの元気の源を知ることができたインタビューとなりました。

これからもお体に留意され、ますますのご活躍をご期待申し上げます。

誌面でご紹介させていただける長寿者の方を募集しています。自薦、他薦は問いません。ご連絡をお待ちしています。

☎0299 (36) 2020 総務企画係

福祉な声

私たちの住む地域には、様々な福祉の施設があります。

今回は、障害者就労支援事業所で就労移行支援・就労継続支援 B 型のサービスを提供している、ブレイクタイム五町田事業所の職員の方にお話を伺いました。

●訓練内容

現在は、職業学科・現場実習・農園芸・ハンドメイド製品の制作・喫茶サービス・清掃訓練・調理訓練等を行っていますが、個々の訓練生に必要な訓練が提供できるようにアイデアと工夫で、訓練内容の充実を図っていきます。

昨年度まで特別支援学校に勤めておりましたが、かねてから私も障害者の就労移行に関する仕事がしたいと考えていたのでこの仕事を始めました。 職員Aさん

この仕事を始めたきっかけは

以前、介護系の仕事では高齢者の支援をしていました。その当時から障害者就労移行支援施設に興味がありました。 職員Bさん

特別支援学校高等部で社会に出る直前の生徒たちを指導しておりました。さらに、進路指導部の卒業生支援係と言う担当で学区内の多くの企業や施設を見させていただく機会がありました。そこで多くの課題や仕事自体に興味を持つようになり退職後、障害者の就職を支援できる仕事をしようと決めておりました。 職員Cさん



たくさんの花やハーブが出迎えてくれます。



ハンドメイド製品の制作

就労支援、実習の協力依頼、訓練及び生活指導。 職員Bさん

日々の仕事の内容

訓練等の指導：買い物支援、ハンドメイド製品作り支援、外部団体等への営業活動。 職員Aさん

施設運営全般、経理事務全般、支援計画作成と計画に基づく利用者の具体的支援内容作り。
(新しい訓練内容の開発) 職員Cさん

まずは、訓練生に対し
全面受容で臨むこと、
そこから実態を把握す
ることがすべての支援
の始まりであることと
考えております。その
後、目標設定と達成の
ための具体的な手立て
を講じること、それが
うまく結果に繋がった
ときにはやりがいを感じ
ます。 職員Cさん

一概に障害者と言っても、障害の重さや種
類、その方の性格、生活環境など多種多様な
課題を抱えた方がおりますので、利用者さん
の気持ちを尊重し、それぞれに合った柔軟な
指導を心がけています。やりがいとしては、
利用者さんの行動や言動に改善が見られ、家
庭での生活の様子が変わりましたとの、お
話を頂くと喜びを感じます。 職員Bさん

訓練生の実態や
気持ちを受容し
時間をかけて
ゆっくりと支援
することを心
がけています。
職員Dさん

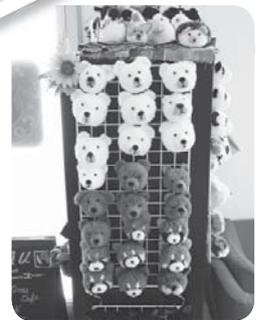
心がけていること、やりがいの魅力



外注による除草作業を通しての清掃訓練



ハンドメイド製品
(デニムのリメイクバッグ・クッションカバー等)



ハンドメイド製品
(動物ポンポン)

市役所等での積極的な障
害者の雇用。職員Cさん

障害者施設の地域への理解啓発の推進（文化祭
などでの障害者施設出店の配慮） 職員Dさん

要望等がありますか。

地域の方々への障害者施設紹介の場の設定。（施設訪問の機会や
ショッピングセンターなどでの販売会などの設定など） 職員Bさん

障害者を積極的に雇用している地元企
業、事業所、店舗の紹介。職員Aさん

.....
ハンドメイド製品は、種類も増えてヘアゴム、デニム缶、デニムのリメイクバックやクッションカ
バー、デコパージュ。さらには、デニム缶を使った多肉植物。ハーブを育ててハーブティーにするこ
とやハーブ石鹸など次々と新製品を制作しています。
.....

合同会社 ブレイクタイム
ブレイクタイム 五町田事業所

〒311-3807 茨城県行方市五町田271番地7
電話・FAX：0299-95-7895
URL：http://www.break-time2717.com
Mail：breaktime2717@hb.tp1.jp



！誌面に掲載した以外
にもたくさんのお話を
していただきました。
そして取材を通して職
員の方の利用者及び障
害福祉に対する思いを
感じました。これから
のますますのご活躍を
ご期待申し上げます。
お忙しい中、ありがと
うございました。

第1回行方市老人クラブスポーツ大会開催

10月の県大会出場へ向けての熱い戦い！！

6月29日（水）、行方市北浦第1グラウンドにて、今年から4種目同時開催で行われる、第1回行方市老人クラブスポーツ大会が、約200名の参加のもと開催されました。

種目は、クロッカー、ゲートボール、ペタンク、輪投げを行い、日ごろの練習で鍛えた技術とチームによる団結力を発揮し、優勝を目指して白熱した試合を繰り広げていました。

さらに、7月4日（月）には、高須崎公園で、麻生・北浦・玉造の予選を勝ち抜いた、それぞれの地区上位30名による、グラウンドゴルフ大会が開催され、順位を競いながらホールポストを狙って、クラブを振る競技者の真剣な姿が多く見られました。

クロッカーの部

【優勝】

松寿会 A

【準優勝】

高砂会 B

【第3位】

鶴亀老人クラブ



松寿会 A

ゲートボールの部

【優勝】

白浜チーム

【準優勝】

豊和チーム

【第3位】

和楽会チーム



白浜チーム

ペタンクの部

【優勝】

若海わかば会 A

【準優勝】

両宿長寿会 A

【第3位】

若海わかば会 B



若海わかば会 A

輪投げの部

【優勝】

新田わかば会きいろ

【準優勝】

繁昌クラブ B

【第3位】

上山老人クラブ A



新田わかば会きいろ

グラウンドゴルフの部

(敬称略)

【優勝】 理崎 市郎

【準優勝】 森作 サダ

【第3位】 荒張 文字

【第4位】 松尾 耕二

【第5位】 新堀 新一

【第6位】 山崎 勇



なお、各競技上位の選手の皆様は、今年10月に行われる茨城県ねんりんスポーツ大会への出場が予定されています。

第14回ビックリ・発見・夏キャンプを開催 ～暑さに負けずみんなで作った夏の思い出～

毎年恒例のビックリ・発見・夏キャンプが、8月3日（水）から4日（木）にかけて白浜少年自然の家において開催されました。この事業は、障害のある方を対象とし、自立・交流・体験の機会拡大を通じて社会性や協調性を育むことを目的としています。

当日は、179名の方にご参加いただき、真夏の日差しの下、レクリエーションや交流会を中心としたプログラムを行いました。

また、開催にあたっては土浦市所在のオール医療福祉専門学校の学生の皆さんにご協力をいただきました。



レクリエーションを通して交流を深めることができました。

みんな元気に のびのびサポート事業

夏休み期間中、玉造保健センターを中心に、ボランティア及び学生のみなさんの協力を得て、延べ9日間のびのびサポート事業を開催しました。この事業は障害児のレスパイト（日常的なケアの負担軽減）を目的と実施しており、今年度で8年目を迎えました。今回も多くの方々にご参加をいただきました。



遠足やプールにも行って楽しく過ごすことができました。

ボランティア連絡協議会からのお知らせ

行方ふれあいまつりが、平成28年10月29日（土）30日（日）に開催されます。その中で連絡協議会として、10月30日にバザーを出店いたします。大勢のみなさまのご来場をお待ちしております。

また、行方市ボランティア連絡協議会では会員を募集しています。現在ボランティア活動を行っているグループや個人の方、これからボランティアを始めようとしている方等、研修会や交流等を通して私たちと活動してみませんか。興味のある方は、下記までお問合せください。

お問合せ 地域福祉係 ☎0299-36-2020

平成28年熊本県及び大分県地震義援金(ご報告)

この度、熊本県・大分県地震義援金に際しまして、ご協力いただきありがとうございます。

皆様からお寄せいただいた義援金は、茨城県共同募金会を通じて、被災地へ送金させていただきました。

義援金報告(敬称略、7月20日現在)

義援金受付 12件

募金箱設置 17箇所

平成28年熊本地震義援金

総額 1,326,590円

平成28年4月地震大分県被災者義援金

総額 27,680円



倉川製作所

平成28年熊本県及び大分県地震義援金のご協力(お願い)

今年4月に発生した熊本県・大分県地震による義援金につきまして、募集期間が延長されましたので、引き続き義援金のご理解ご協力よろしくお願い申し上げます。

また、市内の企業等で募金箱設置にご協力いただける際は、お問い合わせ先までご連絡ください。

平成28年熊本地震義援金

募集期間 平成29年3月31日(金)まで

平成28年4月地震大分県被災者義援金

募集期間 平成28年9月30日(金)まで



<お問い合わせ先>

茨城県共同募金会 行方市支会

〒311-3512 茨城県行方市玉造甲 403

社会福祉法人行方市社会福祉協議会内

電話 0299 (36) 2020



平成28年度 **共 同 募 金 運 動**

～共同募金運動は 2016 年、70 回目の運動を迎えます～

昭和 22 (1947) 年にスタートした共同募金運動は、今年 70 回目を迎えます。
長年にわたりご協力いただいた寄付者の皆様、ボランティアの皆様にご心よりお礼申し上げます。

赤い羽根共同募金運動 (10月1日～12月31日)

本年度も10月1日から、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。
行方市でも、各地区における戸別募金を始め、街頭募金やイベント募金、
そして事業所の協力による募金など、募金運動を展開する予定となっております。



また、皆様からお寄せいただいた募金は、行方市のさまざまな地域福祉活動の充実・発展に役立てさせていただきます。

歳末たすけあい募金運動 (12月1日～12月31日)

歳末たすけあい募金運動は、新たな年を迎える時期に、市内に在住する支援を必要としている方々へ家事援助等なサービスを実施しています。

○昨年度歳末たすけあいの様子



〔草刈り〕



〔廃棄物の処理〕



＜お問い合わせ先＞

茨城県共同募金会 行方市支会

〒311-3512 茨城県行方市玉造甲 403

社会福祉法人行方市社会福祉協議会内

電話 0299 (36) 2020

皆様からの寄付金・預託金 (順不同・敬称略)



麻生小学校児童会

寄附金

預託者名	金額(円)	指定先
一二三会 会長 阿部 剛	36,758	無指定
なめがた湖魔女委員会	12,796	無指定
菅 澤 薫	30,000	無指定
麻生創生会	50,000	無指定
北浦三育中学校	70,000	無指定
六 笠 秀 雄	20,000	無指定
行方ライオンズクラブ	50,000	無指定
二千年区長会 代表 鈴木 忠 芳	100,000	無指定
麻生小学校児童会	6,000	無指定

広報委員

委員長 代々城千尋	委員 熊谷 一男
副委員長 森田 幸雄	渋谷 節夫
委員 磯山 正子	菅谷 京子
小貫 敏子	新堀 文江
漢那 浩子	横田 照実

行方市善意銀行

平成28年5月1日から平成28年7月31日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介します。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
三橋 昭二郎	タオル91本	無指定
匿名	米30kg	北浦地区給食サービス



一二三会



麻生創生会

9月1日は防災の日です。最近の災害は、地震だけではなく、大雨による洪水、土砂災害、河川の氾濫など多岐にわたって人々を苦しめています。身を守る事が最優先ですが、出来る限りの備えはしておきたいものです。

我が家の備品を確認してみたところ、水は1ケースありましたが、消費期限が1ヶ月前に切れていました。乾電池は単3が1本もなく、早速買い直しました。平常時の今、使ってもすぐ買えると、在庫の確認を怠った結果です。

皆様ももう一度確認してみたいはかがですか。

編集委員 代々城千尋

編集後記